

「この人の話が聞きたい」参加者の活動紹介 vol.1

第5次総合計画の事業として令和3年度からスタートした「チームみやしろ会議」では、町内外で活躍しているゲストのお話をきっかけに参加者同士が交流し、新たなアイデアやつながりを生み出す場として、「この人の話が聞きたい（通称：このハナ）」を開催しています。

これまでに全24回、のべ約600名にご参加いただき、「このハナ」をきっかけにさまざまな活動が行われているところです。町では、今後もキープレイヤーの発掘やつながりづくりの場の提供を継続するとともに、新たに誕生した活動の紹介などを行い、さらなる広がりを目指していきたいと考えています。

今回は、「このハナ8」でゲストとしてお話しいただき、これまでに10回以上も会議に参加されている木村裕子さんにお話を伺いましたので、ご紹介します。

【木村 裕子さん】



2022年5月に開催された「このハナ8」のゲストスピーカーの一人。元添乗員として50か国以上を訪れる。2021年に「月3万円ビジネス講座」を受講し、世界中を旅して出会った美味しい料理を再現する「世界のSnackごはん」を2022年3月からスタート。

海外で親しまれている軽食の提供や地元に住む海外出身の方をお呼びしてのワークショップ、世界の文化に触れるイベントなどを企画・運営。



「このハナ8」で交流を深める

「このハナ出演をきっかけに、たくさんの方がつながりができました。色々なお話をしながら、他の方の活動や考え方を知れて面白いです。」と、木村さん。ご夫婦で出演したこのハナ8（2022年5月開催）では、木村さんのお話を聞きに、ROCCO 計画中だった中村さんご兄妹や日本工業大学の教授も参加され、交流を深めました。

① ROCCOのシェアキッチンに出店

仲間とともに新たな活動

3ビズ卒業を目前に、何をやるか漠然としていた木村さん。その時、ROCCOの出店希望者向け説明会があることを知り、参加しました。当初は、ROCCOでゲストハウスをやりたいと考えていたのですが、スペースの都合で断念。一方、オーナーである中村さんとのつながりや3ビズの仲間と一緒に活動できることもあり、シェアキッチンへの出店を決意したそうです。



◀ROCCOのオープン日
一緒に出店した3ビズ仲間と
木村さん（中央）

シェアキッチンでの調理風景▶



お話を伺った日も、2022年10月のROCCOオープン時から一緒に出店している「こびと工房」の五十嵐さんと一緒に笑顔で調理をされていました。

② 日本工業大学の外部講師としてイベントを実施

つながりがつながりを生む

日本工業大学の佐々木教授のお声がかけて、地域活動演習という授業の外部講師をご夫婦で担当。学生たちと一緒に「暮らし」「伝統」「歴史」「自然」といった風景や、様々な視点から町に関わる方々へのインタビューによる映像作品「宮代劇場」を上映しました。当時を振り返り、色々な方にお話を聞く貴重な経験ができましたと教えてくれました。

また、同教授が関わる農家民泊のプロジェクトを知り、旅行会社での勤務経験を活かして、受付やアテンドを担当。8月には、アルゼンチンギタリストをご案内したそうです。



▲「宮代劇場」を駅前広場で上映する様子

これから



▲木村さんが主催している国際交流イベント「ワールドフードバザール」

木村さんにこれから挑戦してみたいことを伺いました。

「大きな目標は宮代町にいつか姉妹都市をつくることです。そのためにも地域に住む海外出身の方と地域の皆さんが交流する機会を増やしていきたいです。宮代周辺をご案内するローカルツアーにも挑戦してみたいですね。先日のアルゼンチンギタリストの訪問をきっかけに、海外からのお客様が来てくれるかもしれない！と期待しています。」と、これからの展望を教えてくださいました。木村さんのご活躍がますます楽しみです♪

関連リンク：「ROCCO」

2022年10月、宮代町道佛エリアにオープンしたセレクト横丁。空き家だった築50年の平屋6戸をリノベーションした複合施設。地元の中村建設の3兄妹が手掛けた。

